

会員の皆様には季下益々御清祥のことと存じます。

さて、マスコミ報道等で既に御存知のことと思いますが、去る8月22日の百人委員会での確認事項をお知らせいたしますとともに、皆様の判断をお寄せいただきたくお願い申し上げます。

(一) 第4回五者会談(8月18日)をめぐる事実確認

- ① 五者会談の席上、知事より次のような発言、提案が行なわれた。
 - ④ 運河全面保存については、両派の主張は平行線のままであり、合意は得られなかった。
 - ⑤ 運河・港湾地区の再開発を中心とした小樽活性化の必要性については両派とも意見が一致している。
 - ⑥ 今後は小樽活性化のために、道および両派からなる小樽活性化委員会(仮称)を設け、話し合いを進めてはどうか。そこで得られた合意に対しては道も財政的援助を行い、また、民間資本導入の働きかけも行いたい。
- ② この提案に対し、村上代表幹事は百人委員会に持ち帰るべきものとして回答を保留し、他の参加者は賛同した。
- ③ この後、知事は両派代表数名の同席した記者会見席上で「埋め立て工事は予定通り行う」旨の発言を行った。

(二) 8月22日百人委員会総会での会員提案

上記の事実を受けた様々な議論の中で、会員から今後の方針に関する3つの提案がなされた。

- ① 百人委は解散し、今後会員は個人の立場で状況に対応する。
- ② 百人委は存続し
 - (A) リコール等の手段で市民の意思を問う。
 - (B) 百人委として活性化委員会に協力する。
- (なお、この他に「全面保存のための手段をもう少し考えてみよう」との発言もあった。)

(三) 上記三提案を受け「先ず、解散の是非を百人委メンバー全員に諮るべきである」との結論を得ましたので、この件につき、下記の要領で皆様にお諮り申し上げます。

1. 対象 百人委設立メンバー(100名)
2. 回答方法 ハガキによる是・非の表示
(設立メンバーには回答用ハガキを同封します)
3. 切切 8月31日必着
4. 最終決定方法 設立メンバーの回答を基に、追加メンバーを含む次回総会の決議をもって決定
5. 次回総会 9月1日(土)午後7時~ 道新ホール

皆様には、事案の重要性にかんがみ、同封ハガキにより必ず御回答下さいとともに次回総会には万障お繰り合わせの上、是非御出席下さいようお願い申し上げます。

昭和59年8月26日

小樽運河百人委員会

文責 議長 篠崎恒六
同 結崎洋一郎